

《2020・新年祝賀会・研修会・講習会》

令和2年1月25日(土)、山形グランドホテルを会場に、山形県歯科技工士会新年祝賀会が開催された。新年会の前に研修会・講演会も行われた。

『機能的な義歯を目指して』

新年会研修会が山形県歯科技工士会学術理事の尾形清敏氏を講師に行われた。

尾形氏が実際に製作した義歯の画像や動画を見ながら、総義歯を製作する過程を説明していただいた。

規格模型の製作法や、ゴシックアーチを使用した咬合採得の方法と診断方法、ゴシックアーチを使用する意味、スキーズーンを考慮した人工歯排列などを細かく話していただいた。



『自分でできる痛み苦痛解消法』

講習会では、藤島文化スポーツ事業団所属でスポーツインストラクター兼主任の鈴木勝義氏にお越しいただき、運動でできる健康法を教わった。

運動をすることの意味、運動の体への効果の話をお聞きした後、柔軟運動・有酸素運動・筋力トレーニングの3つの運動を実際に体験させていただいた。

まずは立位での姿勢をチェックし、自分の姿勢を確認した。ほとんどの人の姿勢のバランスが崩れていたのには驚いた。正しい姿勢を作る方法や、体の色々な場所の筋肉を柔らかくする運動を教わり、少し体が軽くなった気がした。

運動をする事により、「ロコモ」・「メタボ」・「認知症」を防げるという事なので、これからも積極的に運動をしたいと思う。



『新年祝賀会』

新年祝賀会では、山形県歯科技工士会櫻井会長の挨拶、山形県歯科医師会富田滋会長の祝辞、山形県歯科衛生士会志鎌みな子副会長の乾杯の音頭で宴が開かれた。

太田副会長・橋本理事より日本酒の差し入れもあり、美味しい料理を味わいながら堪能した。最後に、東北・新潟歯科用品商協同組合大沢巖山形支部長による「花笠締め」で終了となった。

帰りには、櫻井会長より「乃が美」の美味しい食パンのお土産をいただき、皆帰途に就いた。



『第 41 回山形県歯科医師会・ 山形県歯科技工士会共催学術講演会』

尾形清敏(中央)

令和元年 12 月 22 日(日)午前 10 時より、山形県歯科医師会館 4 階大会議室において北海道医療大学教授の疋田一洋先生をお招きし「第 41 回山形県歯科医師会・山形県歯科技工士会共催学術講演会」が開催された。

初めに山形県歯科医師会常務理事大類晋先生より北海道大学の先輩である疋田先生と出版された著書の紹介をしていただき、歯科の CAD/CAM 技術の精度が向上していることと本日の講演会が歯科の未来へ繋がるとの挨拶をいただいた。



続いて山形県歯科技工士会櫻井利浩会長より、41 回の共催学術を迎えられた事のお礼と参加人数の多さから今後変化していく歯科のデジタル化に興味関心が強いことが伺えると挨拶として述べられた。

第一部として「CAC/CAM 冠の保険導入への経緯とその後の影響」の演題で御講演頂いた。自己紹介と北海道大学の紹介ののち、精密製造法に変わる CAD/CAM によるクラウンの製造を長年研究し大変な道のりを経て保険導入へ到った経緯を講演された。そしてレジンブロックやセメントを各メーカーごとに実験、研究されたデータを提示し

どのような材料特性があるかの説明があった。その後今回ブースを展示していただいた株式会社 GC に製品説明の時間があり午前の部が終了となった。昼休みには GC のブースに人が集まり午前の講演でも疋田先生が仰っていた CAD/CAM 機器やセメントなどの材料を実際に手に取り説明を受けることができた。

午後からは第二部「デジタルデンティストリーが変える歯科医療」という演題で御講演いただいた。今保険導入された CAD/CAM 冠が大きな転換点となることとお話しされ、ファイバーポストの有効性やジルコニアの進化、3D プリンターでデンチャーが作られることなど様々なお話しがあった。そしてドイツのケルンで行われている IDS での口腔内スキャナーの最新機種を紹介をしていただいた。口腔内スキャナーの評価基準を示し、何に使うかその用途によってどの機種を使うかを判断しなければならないと述べられた。圧倒的に早く、ストレスが少ない利点があるが注意する点も多々あり、再検討する必要があると細かく説明していただいた。

講演後の質疑応答も多数あり、疋田先生の飛行機の時間のため終了となった。「歯科のデジタル化」に興味関心が高い事が伺えた講演会であった。



 おめでとうございます！ 

五十嵐千裕さんにお子様が生誕しました

ちはや
千隼くん

令和元年 8 月 23 日生

